

## 現代日本論基礎講読「論文作成の基礎」

## 第7講 草稿を読む

田中重人（東北大学文学部准教授）

[テーマ] 中間レポート草稿についてたがいにコメントする

### 1 今日の課題（1）

中間レポート草稿を交換して、おかしいところ、わかりにくいところ、まちがいをみつけて、チェックを入れる。その後意見交換。

- 1枚目左上に自分の署名を入れる
- よくわからない箇所については、さまざまな可能性を考えること。また、辞書を活用すること。
- 草稿への書き込みだけできちんと伝わるように書くこと。
- 書き込みの方法については、5/13 授業資料や教科書 p. 171 の「校正記号」を参照

### 2 チェックリスト

#### 2.1 様式・表題・所属など

- 規定の分量（A4用紙2ページ超）に達しているか。
- 上下左右の余白はじゅうぶんか。
- 行間がつまりすぎていなか。
- ページ番号が打ってあるか。
- 表題は適切か。
- 「素材」の書誌情報がきちんと書いてあるか。
- 概要紹介と批判的コメントの両方をふくんでいるか。
- 読んでない人にもわかるように概要が紹介できているか。

#### 2.2 セクションとパラグラフ

- セクション番号にまちがいはないか。
- セクションには適切な見出しがついているか。
- セクションのわけかたは適切か。もっとこまかくわけるべきところはないか。
- セクションの順序は適切か。
- パラグラフの最初は改行して1字下げできているか。
- パラグラフの区切りかたは適切か。もっとこまかくわけるべきところ、逆にまとめるべきところはないか。
- パラグラフをならべる順序は適切か。
- パラグラフの第1文／第2文／最後の文のどれかがトピック・センテンスになっているか。

## 2.3 引用・参照

- 引用・参照の範囲は明確か。
- ページ数や出典が示されているか。

## 2.4 その他

- あいまいな単語や文章がないか。
- 文を分割したほうがよいといころはないか。
- 構文が複雑になっているところはないか。
- 読点を打つ場所は適切か。
- ナカグロ、スラッシュ、括弧など記号の使いかたは適切か。
- 漢字で書いたほうがよいことばや、逆にひらがなのほうがよいことばはないか。
- つづりまちがい、同音異義語の誤変換などはないか。
- つなぎのことばは適切か。
- とってしまったほうが意味がはっきりするようなことばはないか。
- 文章のどことどこがどう関連しているかがはっきりしているか。

## 3 今日の課題（2）

次のことをまとめて提出

(1) 今回のレポートの構想を立てるにあたって、

- どんな方法を使ったか（構成表／マインドマップ／スケッチノートなど）
- その方法はどういう点で自分にあってる（またはあってない）と思うか
- どのような改善の方法がありえるか

(2) 今回の草稿について、どのような意見をもらったか、それにどのように対応するつもりか

(3) 今回、批評する側に立ってみての感想

(4) 今日までの授業に関する感想・批判・意見など（なくてもよい。採点対象外）

## 4 再来週（6/16）までの宿題

今回の相互批評の結果をふまえてレポートを修正する。ファイルをISTUで6/16（木）正午までに提出。（ISTUが使用できない場合は電子メールで提出のこと）

提出のファイル形式はPDF（Portable Document Format）に限る。PDFファイルの作成には、次のような方法がある

- Adobe Acrobat を購入するか、使える場所を探す
- Microsoft Word 2010以降では、PDF形式で保存することができる
- 無料でPDFファイルを作成できるソフトが各種存在
- オンラインでPDFファイルを作成するサービスもある

いずれの場合も、作成の形式として「PDF/A」が指定できれば、それがのぞましい。